

News Release

平成18年3月9日

各位

パイオニア株式会社
 代表者名 代表取締役社長 須藤 民彦
 (コード番号 6773 東証第一部)
 問合せ先 常務執行役員経理部長 岡安 秀喜
 電話 (03)3494-1111

平成18年3月期 業績予想の修正についてのお知らせ

平成17年12月8日に発表した平成18年3月期の通期連結業績予想を次のとおり修正します。

1. 平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)通期連結業績予想の修正 (金額単位 百万円)

	営業収入	営業利益 (損失)	税引前利益 (損失)	当期純利益 (損失)
前回発表予想(A)	770,000	25,000	73,000	87,000
今回修正予想(B)	780,000	20,000	70,000	85,000
増減額(B-A)	10,000	5,000	3,000	2,000
増減率(%)	1.3	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	733,648	2,592	187	8,789

2. 修正の理由

営業収入については、為替が米ドル、ユーロとも想定より円安に推移していること、プラズマディスプレイが欧米を中心とした海外において好調で、販売価格も前回予想時ほど低下していないこと、カーエレクトロニクス製品のモデル導入が順調に行われ売上を伸ばしていることなどにより、前回予想を上回る見込みとなりました。

利益面では、上述の為替の円安影響、プラズマディスプレイの売上増および価格低下が前回予想より小幅であること、さらにカーエレクトロニクス製品の売上増等により、営業損益、税引前損益、当期純損益とも前回予想から改善する見込みです。

なお、親会社および国内グループ会社の計12社を対象とした600名程度の雇用調整(特別退職優遇措置による退職者の募集)に関しては、現在、計画どおりに進捗しており、当期中に完了する予定です。

また、3月における為替レートについては、1米ドル=115円、1ユーロ=135円と想定しています。

注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いいたします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入、急速な技術開発、厳しい価格競争、主観的で変化しやすい消費者の嗜好等を特徴とする、競争の激しい市場において、評価の高い製品やサービスを継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)事業に影響を与える技術進展に応じて、競争し、販売戦略を策定、成功させる能力、(6)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(7)ブランドイメージを継続的に向上させる能力、(8)当社と他社との合併や提携の成功、(9)事業構造改革の成否、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

以上